

# 議会だより

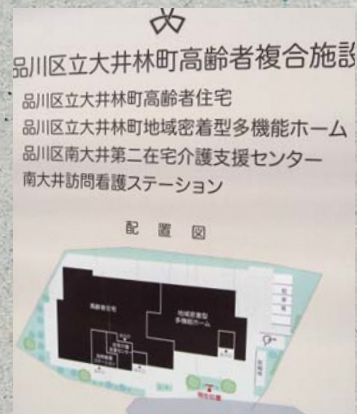
News Letter From Hachijo Town Assembly

No. **186**  
2018.5.25



シェア金沢（石川県）

平成30年1月11日～12日  
行政視察



品川区立大井林町高齢者住宅

## 第1回八丈町議会定例会

平成30年3月1、19、26、29日開催

### 目次

- 転換期にさしかかる町政 ..... 2P
- 一般質問 ..... 3P
- 本会議の質疑から ..... 10P
- 行政視察レポート ..... 11P

# 第一回八丈町定例会

(平成30年3月1・19・26・29日開催)

## 転換期にさしかかる町政

3月議会は3月1日に町長の施政方針が示された後、3月29日までの会期に、一般会計、特別会計、企業会計の新年度予算と平成29年度補正予算が審議され、すべて執行部の原案どおり成立しました。また、前年度の大規模事業の終了により新年度予算総額は減少しました。

新年度予算をみると、大きな変化がいくつかありました。議会では、こうした転換期に町がとるべき施策や、住民への影響を少なくする対策などを中心に審議がすすめられました。

### ◎ 介護保険

その一つは介護保険事業計画が第7期を迎え、計画の内容と保険料の見直しが行われたことです。住民の関心は、「保険料がどれくらい上がるのか」にあると思いますが、月額平均保険料は5,885円で185円の値上げにとどまり、東京都の離島のなかでも中ほどの料金になりました。また、住民の相談窓口である

地域包括支援センターを養和会から役場へ移す準備が進められます。

### ◎ 国民健康保険

二つ目は国民健康保険の運営主体が町から東京都へ移管されたことです。数年前から運営母体が都に移ることへの懸念や対策が議論されてきましたが、保険料は平均で年間約5,000円の値上げになりました。ただし低収入の方は若干値下

げされます。所得割と資産割の比率を変えて、収入の高い人から多く徴収するよう工夫した結果です。

### ◎ 資料館移転とふるさと村の焼失

さらに1月はじめに「ふるさと村」が焼失したことで、歴史民俗資料館が3月末日に閉館され今後は八丈支庁展示ホールに一時的に移転されることです。観光に及ぼす影響ははかり知れ

ないので、議会はその影響を最小限にとどめる施策を強く求めました。

一方で面白い話題もありました。東京都の総合交付金が15億円となり島嶼町村では最高額だったこと、バス事業の貸切事業が順調に伸びていること、リトアニアから国際交流員が着任することなどです。今後は予算執行がどう実現されるかをしっかりと見届けたいと思います。  
(奥山幸子)



歴史民俗資料館が移転する八丈支庁展示ホール



焼失前のふるさと村

町長の施政方針実現のために、SDGsを活用してはどうか

**答** 既に再生可能エネルギー導入を推進中であり、今後は町の基本構想に導入したい



山本 忠志 議員

◆所要時間 29分

先日、町長が表明した施政方針を実現するために、SDGsを活用してはどうか、町の所見を伺いたい。

図2015年9月、「誰一人取り残さない」との理念を掲げ、国連サミットにおいて、SDGs（エス・ディー・ジーズ）が設定された。

これは、2030年までにすべての国が達成すべき目標として定められた持続可能な開発目標であり、17項目のゴールからなっている。

我が国においても、SDGs推進本部が立ちあげられ、種々の取組みが始まった。

図企画財政課長 国は、SDGs実施指針を策定し、地方自治体をその不可欠なパートナーと位置付けている。

また、全国展開に向けて、地方自治体の各種計画・戦略の策定や改定にあたっては、SDGsの要素を最大限反映することを奨励している。

町としては、施政方針をはじめ、再生可能エネルギーの導入など、既にSDGsに沿って取り組んでいるものもあり、今後さらさら推進したい。

さらに、現在の八丈町基本構想は2020年に終了

し、次期構想策定のタイミングでもあるので、総合開発審議会の中でSDGsの活用について意見交換したい。

町立学校で、がん教育の推進を

**答** 学校と相談しながら進めていく

図がんは、我が国の死亡原因の第1位を占める病気となっている。がんについて正しい知識を身に付けさせることは大変重要であり、新学習指導要領にも、「がんについても取り扱うものとする」と明記された。

町立学校でのがん教育の推進について、町の考えを伺いたい。

図教育課長 現在、町立学校では中学校保健体育の授業の中で、がんなどの病気の予防として、バランスの取れた食事の重要性、喫煙や飲酒について指導している。

今後、がん教育については学校と相談しながら進めたい。

教育負担軽減により、人口減少に歯止めを

**答** 就学援助新入学用品費に検討するが、給食費は現状の範囲内の運用に留める

図つい先日、地元誌に昨年の八丈町の出生数は37名で、過去最低と発表された。また、内閣府の調査によると、「理想の子どもの数（2.42人）を持たない理由」として「教育費の負担」が約七割を占めていた。

八丈町でも「子どもの教育は町全体で」と意識改革し、人口減少に歯止めをかけてはどうか、と提案したい。

その具体例として、平成31年度の小中新入生から、就学援助新入学児童生徒学用品費の入学前支給を実現できないか。

また、学校給食費につ

ても、例えば第二子は半額、第三子からは無償化にできないか。

図教育課長 就学援助新入学用品費の入学前支給にあたっては、受給後の転出や、その判定基準となる所得の年度も課題である。来年度に向けて、運用面を精査して前向きに検討したい。

次に、給食費については、近年、食材費の高騰が著しく、給食費の値上げに繋がらないよう努力している。現状の範囲内での運用に留めたい。



空き家の実態調査と整備を求める

**答**  
まずは所有者への啓発活動から  
行う



奥山 幸子議員

◆所要時間 24分

ものか。

問 空き家の実態と所有者の意向を把握しているか（固定資産税情報利用）。

答 企画財政課長 平成28年の調査では、空き家は32軒、そのうち所有者が明らかになっているのは168軒、利用可能なのが43軒。所有者の意向を聞いて返信があったのが21軒で活用希望が2軒となっている。固定資産税の情報を利用して

問 防災、景観、防犯の観点から撤去すべき空き家の処理は可能か。

答 危険な空き家は35軒あり、「特定空き家」として指定は可能だ



が諸事情で実際には行っていない。

問 利用できる空き家を整備するために「空き家協議会」の設置を。

答 「空き家協議会」の必要性は感じているが、委員の構成人選など難しい。所有者への啓発活動から行っていく。

問 相談窓口を設置できないか。固定資産情報で、転出する方の意向を把握し更新する仕組みはないか。更地にする税金が6倍になるのは本当か。空き家協議会には、宅建保持者、司法書士、行政書士、弁護士などの専門家を中心に組織できると思うが。

答 相談窓口は専門家との連携が必要であり、協議会の設置とあわせて考えたい。更新義務のようなものはないが、情報把握と町からの情報提供は続ける。固定資産税は更地になると4・2倍になる。「空き家協議会」

は前向きに検討したいが、まずは所有者への啓発活動から行っていく。

観光シーズンに向けて  
急ぐべき対策は

**答**  
できることから実現  
していく

最近、島を訪れた友人や観光客から指摘されて気づいたことがいくつもあった。観光シーズンを迎える今こそできることから実践していただきたい。

問 観光スポットに見えやすい看板表示を。

答 産業観光課主幹 観光協会と連携して観光サインのデータ化を進めている。意見を聞きながら設置を進めたい。

問 八丈富士登山口にトイレを。

答 登山口には商用電源がないので、ソーラーパネルを

利用したトイレが設置できないか早急に調査する。

問 QRコードを使った解説の導入を。

答 QRコードについてはパンフレットでの対応は行っている。

問 えこ・あぐりまーとの改革を。

答 えこ・あぐりまーとの売り上げは徐々に向上しているが、今後どう改善できるか町と中之郷園芸研究会と協議を重ねているところだ。

問 ふるさと村の焼失と資料館の移転によって、観光客への影響が大きいので、えこ・あぐりまーとを立ち寄る場所として改修し、おしゃれで居心地良く、弁当などが食べられるような場所に改善してほしい。

答 ツアーの要望も聞く必要があるが、実現できるように考えていきたい。

東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーの誘致を

**答**  
八丈町としても誘致実現に取り組む



浅沼 憲春 議員

◆所要時間 8分

ことで、同じ東京都民として東京オリンピック・パラリンピックに参加でき、島々が盛り上がり観光等の経済面でも期待できるのではないか。

早期に聖火リレーの開催を誘致しなければ、56年ぶりの東京オリンピック・パラリンピックに参加協力できなくなり、実現できれば町民の子供からお年寄り、また障がいのある方々、ふるさと納税の返礼として募集をかけ、町の活性化に役立つのではないか。

町のビックイベントとして、東京都とオリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に誘致要望を行うつもりはないのか。

◎教育課主幹 島しょ地域に聖火リレーの誘致が実現

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーを、八丈町を含む伊豆諸島・小笠原諸島で開催するよう誘致を推進するべきではないのか。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会では、聖火リレーのコンセプトの検討を進めるため「聖火リレー検討委員会」を設置しているが、いまだに同じ東京都に属する伊豆諸島・小笠原諸島での聖火リレーの実施を明言していない。

できれば住民一人ひとりが大会開催を実感し、記憶に残る大会になり、大会開催の機運醸成に大きな成果が期待できると共に、島しょ地域、八丈町の絶好のPRになると考えている。現在、東京都町村会においても、平成30年度の重点要望として、東京の全町村への聖火リレーの誘致を働きかけている。町としても誘致の実現に取り組んでいきたい。



災害時の全島避難や大型客船接岸のための大型栈橋設置について

**答**  
具体的な案がまとまった段階で、国や都へ要望する

大島は昭和61年に、三宅島は平成12年に、共に全島避難で住み慣れた島を離れることになった事はご承知と思つ。

昨年大規模な防災訓練が八丈町で実施されたが、三宅島・大島からは伊豆半島が目視できるほど本土から近く、近年の大島の噴火時は東海汽船の所属船8隻、海上保安庁の巡視船8隻、自衛隊の護衛艦2隻等が救援に駆けつける事ができ、両島民の島外避難が可能だったが、我が八丈町は本土から約300キロ離れており、町民7500人余の命を守るため、大栈橋の必要性は高いと思つ。

◎大型栈橋は避難のためだけでなく、大型客船の接

岸が可能となれば観光面や、島の経済効果にも大きな恩恵を与えらると思われ、大型栈橋の必要性を国や東京都に要望する考えはないのか。

◎企画財政課長 町の基本計画においては、伊豆諸島・小笠原諸島を周遊するクルーズ船の誘致に向けて、豪華客船の寄港に対応した港湾施設の整備促進を掲げている。今後、関係者との協議を進め、具体的な案がまとまった段階で国や都へ要望していく。小笠原の二見港は、八丈島と同じく接岸はできないが、係船ブイを大型化することで5万トンのクルーズ船の寄港に対応している。

このような事例もあるので、八丈島にあった形も研究していきたい。全島避難への対応に対しては、大規模な港湾整備は長期となるため、都や町の防災計画をふまえる必要がある。

歴史文化の積極的な保全と活用を

答  
く 研究者の参画を検討し進めて行



岩崎 由美 議員

◆所要時間 17分

八丈島の歴史文化は、その自然と同様に、学術面のみならず、観光面からも大切な資源と考えられる。過日開催されたSHIP(高校生を中心としたハワイとの交流プログラム)のプレゼンでは、ハワイの歴史文化を保全・活用していく取組を体験した高校生から八丈島でもそれが非常に大事であるとの意見発表があった。また歴史民俗資料館の移転問題に関しては、委員会を設置したことによって方向性を見いだすことができたが、新歴史民俗資料館

の建設計画については今後

の大きな課題である。また平成28年度に策定した「八丈町まちひとしごと創生総合戦略」では平成30年度に文化財保全・活用計画の検討、平成31年度に歴史文化基本構想策定の検討が重要業績指標として掲げられている。町制70周年に合わせた島誌改訂も進めなくてはならない。八丈町にとって歴史文化の保全と活用は重要であり、今後積極的な施策づくりが望まれる。しかしながら、誇るべき歴史文化があるにもかかわらずそれが活かされている状況とはいえない。今後積極的な施策づくりが望まれる。

問 各施策の進捗状況は。

答 教育課長 新歴史民俗資料館の建設計画について



八丈島誌

は、東京都と連携して現在の資料館の再整備を進めて行く。文化財保全・活用計画、歴史文化基本構想の策定については、新歴史民俗資料館の開館を鑑み策定を見合わせた。平成30年度、文化庁創設50周年に伴い内部の構造改革と共に文化財保護法の改正が行われる予定だが、地域計画策定については、新歴史民俗資料館建設と今後の国の動向を見ながら検討していきたい。八丈島誌については、改訂準備委員会での方向性を検討した結果、新たに編集、執筆する必要があるとの結論に達し、今後、編集委員会

を立ち上げ、さらに検討を重ねる。

問 歴史文化の保全・活用に関して、これまで積極的に施策づくりがなされてこなかった原因は。

答 八丈町文化財保護条例のもと、どちらかという文化財保護施策を主体としてきたことが原因のひとつ。

問 文化財専門委員会の開催頻度、委員の出席状況、検討内容についての現状は。

答 委員は6名で構成されており、委員会開催は今年度4回、5月5名、7月4名、10月4名、1月5名が出席している。検討内容は主に教育委員会からの文化財の指定・解除における諮問の答申、指定文化財等の状況把握と保存対策について、指定すべき未指定の文化財についての調査とそれによる教育委員会に対する意見の具申などである。

問 文化財に関しては施策が

実施されてきたが、歴史については有効に活用されていないと考える。一番の問題点は「歴史の専門家が島にいない」ということではないか。自然と同様、歴史についても研究者との繋がりが必要ではないか。

答 島誌改訂準備委員会の議論も、専門家がいないために意見が深まらない。今後、編集委員会を立ち上げ、専門家との繋がりを作る中で、八丈町全体の歴史に精通しているような方を探し、一緒に歴史文化行政を推進できればと考えている。

問 ぜひ研究者に参画していただきたい。文化財専門委員会の空席に、そのような研究者との繋がりがあのような島内在住者に参加してもらいたい。

答 実際に専門家の方に入ってもらった場合にはどのくらいの費用が掛かるのかなどを考えたから検討し進めていきたい。

オリパラに向けてインバウンド観光のインフラ整備の拡充を

答 順次整備していく。



山下 巧 議員

◆所要時間 16分

「しまぼ通貨」の購入にも支障を来している。即急な対応を。

答 産業観光課主幹 観光協会が管理運営しているが、出来るだけ早く改善したい。また、来年度は八丈支庁が新たに設置すると聞いている。

問 外国語パンフ、散策マップ、免税店の拡大を。

日本のオリパラに向けた取り組みで、政府は地方創生の切り札としてインバウンド旅行の推進に力を入れている。2017年の訪日ツーリスト市場は2000万人を超え4兆5千億円、政府目標は8兆円を見込んでいる。わが八丈島も観光インフラを整備したい。

問 高速公衆無線Wi-Fiの整備について八丈島空港は到着出発のお客様に送迎の方を含めると最大400人もの方がビル内に滞留し、東京都の活性化事業

問 海外への情報発信WEBサイトの充実を。

答 昨年観光マップの英語版を作成した。来年度に向けて多言語電子システムを利用して外国語対応を進めている。免税店については要望があれば、勉強会等を実施したい。

問 東京観光財団、観光協会と連携し、プロガの派遣、TV・雑誌記事での紹介、WEBサイトの充実に取り組み。来年度は海外向け旅行商品造成事業や観光協会、空港、底土客船待合所に多言語タッチパネルを設置し、PRに努めたい。

問 八丈島空港に親しみやすい愛称を付けられないか。鳥取県の「米子鬼太郎空港」、徳島県の「阿波おどり徳島空港」は有名だ。八丈島は、島言葉を使った「おじゃりやれ八丈島空港」が考えられる。

問 空港の愛称について国の助言では需要圏域から合意形成で決定された名称が望ましい。今後は関係機関や住民との意見交換の中で検討したい。

音楽や文化交流の推進に支援を

答 補助金以外で協力したい。

問 八丈高校のリーダーシップ育成に民間グループがハワイと交流実績をあげている。また、ハワイで開催された国際柔道大会に八丈島の少年達が参加、時の領事官が現在リトアニア大使に赴任し、八丈町との新たな交流がスタートした。今後このようなスポーツ文化交流などに支援が出来ないか。

答 ヨーロッパ内陸の人達は八丈島の海岸や太平洋の海に感動する。新しいおじゃりホールは海外の演奏旅行に申し分ない。国内外への情報発信で「音楽の島」として文化交流の促進をしていただきたい。

問 企画財政課長 民間による国際交流は個人団体の目的も様々な形態が想定され、公益性を勘案すると渡航費用の支援は難しい。補助金以外で協力したい。

答 マウイ郡との交流を含め、新たな国際交流事業を推進する。11月にはリトアニア音楽学校の生徒によるおじゃれでの合唱コンサー

トを予定している。島の魅力を国内外に発信出来るよう、おもてなしをしたい。

養殖企業の積極的誘致を

答 コスト面で厳しい

問 陸上養殖や栽培漁業による安定した地場産業の振興は島の将来ますます重要となってくる。海流や温暖化など自然環境の変化により漁獲量が不安定となり、このままでは雇用も後継者も育ちにくい。誰かがいつかやるだろうでは前進はない。今後地熱エネルギーを含め島内電力も拡大できるため積極的な企業誘致活動をしていただきたい。

問 産業観光課長 鳥しよ農林水産試験場でトコブシ栽培を、また、シマアジ、マダイも漁協主体で生けすにより実施されていたが、コスト採算面で厳しいため企業誘致は難しいと考える。

巡回バスの委託走行はできないか

答 観光振興連絡会の中で検討する



沖山 恵子 議員

◆所要時間 17分

観光が好調で多くのお客様がいらしている。しかし、八丈島は移動という観点では最悪の観光地だ。お客は貸切バス・タクシー・レンタカー等で観光するが、貸切バスやタクシーは価格が高く、レンタカーは免許が必要だ。今まで登龍峠を自転車で登る女性を見てどうしてこのような無謀な事をするのかと不思議に思っていた。路線バスは本数が少なく観光地をめぐるのは大変で、それしか移動手段がなかったのだと気がついた。

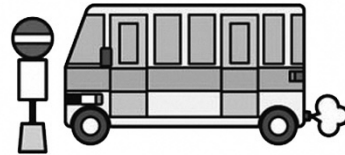
民間に委託して観光地を巡回するバスを運行できないか。

答 産業観光課主幹 観光協会が、夏のお客が多い時に10人以上で実施するストレチア号という観光バスを運行したが、人が集まらず50回中16回しか運行しなかった。お客の多い時期でも利用が少ないので、新たなバスの運行は難しく、ストレチア号を継続しよう観光協会と連携したい。

答 ストレチア号は、決まった所を回る定期観光バスの形だ。日本全国、定期観光バスは衰退し八丈町もやめた。今は好きな所に行き好きな時間過ごすのが主流だ。路線バスの間を埋める移動手段として、巡回バスを作りたいと思うが、

そのような形の検討はできないか。

答 町としても二次交通は課題なので、観光振興連絡会で検討していきたい。



フリージアまつり会場の連作障害対策を行ってみたいか

答 調査の上検討する

答 八形山のフリージア畑は連作障害で土地が疲れているように感じる。農家は対策として、イネ科の植物を植え、いらない肥料と毒素を吸ってもらい土地をリフレッシュするそうだ。イネ

科のトウモロコシを植え、2次利用で巨大迷路を作れば、子どもやお客も喜び一石二鳥だと思う。経済的にも頻繁に球根を買い替える事を考えれば割に合うかどうか。

答 産業観光課主幹 病気が発生しており、普及指導センターに土壌や球根の調査をお願いする予定だ。その結果を見て今後の対策を考えたい。

ふるさと村を再建するまで別の体験場所をつくらせないか

答 名護の展望を利用してきかないか検討中

答 ふるさと村は、体験する観光施設としてとても良い場所だった。町は再建に向けて努力しているが、再建まで一時的にお茶が飲め太鼓が叩け、島の人とおしゃべりができる体験型観光施設を作りたい。また、接客の人に黄八丈を利用した制服を着て欲しいがどう

か。

答 産業観光課主幹 ふるさと村の接待は観光客に好評と認識しており、交流施設は重要だと思っている。名護の展望を活用できないか検討中。黄八丈は着付け体験の実施を計画中。

●こんな質問もしました

質問 台風20号で故障した携帯電話のアンテナ塔が半年たっても直らない。町から修理をお願いできないか。

答 企画財政課長 問い合わせ、3月中の復旧を確認した。



入学準備金の「入学前支給」を求め  
める

**答**  
30年度予算化し、31年度から二  
段階で実施する



菊池 睦男 議員

◆所要時間 40分

経済的に困っている準要保護世帯に入学準備金が支給されている。この件は昨年国会で、畑野議員が、「入学前に前倒し支給せよ！」と求め、松野文科相は「交付要綱を検討しており、前向きに対応していく」と決意を述べ、これ以降全国動きが急変し、小学校で4割、中学校で5割の自治体が3月中に支給するようになった。（東京都は小学校34%、中学校60%の実施率。八丈町は入学した年の11月と翌年3月に按分支給）

問 八丈町も入学前に実施すべきである。金額も国の要保護並みに倍増するべきだ。

答 教育課長 所得年度の把握の課題がある。金額は、30年度予算で要保護と同じ小学校4万6百円、中学校4万7千4百円で計上している。

問 町長 時期は入学前で検討する。前々年度の所得を基準とし、30年度で補正予算を組み、31年度入学分から実施する。

**答**  
従来通りの運用形態で開始する

公民館の利用は条例上は

有料だが、島民には減免規定があり実質無料で、電話申し込みが可能であった。町の改定案の理由は、「受益者負担」、「全館有料化」、「30日前までに文書で申請」等とある。

公民館の設置理念には、憲法第16条、教育を受ける権利、受けさせる義務という基本的な考え方がある。

図書館と博物館は法律で、無料の原則を条文で規定している。しかし、公民館については、社会教育法第5章で規定されているが、無料との規定はない。

だからといって有料にする理由にはならない。戦後荒廃復興のために図書館や博物館、そして公民館は、無料でスタートした歴史がある。日本の公民館は、一九四六年の「公民館の設置運営について」という通達によって誕生した。「平和と民主主義」「文化の香り高い人格」「産業・政治・地域を豊かにする為」が核心となっている。公民館の昨年度の利用者は2千4百件、2万8千人余りの町民が利

用し、地域になくはならない大切な場として役立つできた。

問 ①利用者の声を聞いてどう反映していくのか。

②全館一律の有料化ではなく、まず三根だけを切り離して考えたらどうか。

③特定団体の利用過多をどう考えるか。

④申し込みは従来どおり電話で可能とし、使いやすい公民館にすべきと思うがどうか。

答 教育課長 ①は、減免範囲を再精査し、利用者の声を聞きながら、運用を検討したい。②③④は、使用料の改定を行うかにより異なってくるが、これらも利用者の声を聞きながら判断する。三根公民館は従来どおりの運用で開始する。

台風塩害復興支援、都  
は何をしたか

**答**  
総合交付金大幅増額、ご理解を

問 東京都は台風被害にどんな具体的支援を行ったか。

答 産業観光課長 台風被害の軽減のため、ロベネットの施設整備の追加対応をし、平成31年度から収入保険制度を開始する。

問 東京都は、「前回のよう  
な肥料配布は難しい。ネット  
ト施設なら可能」と言っているが、肥料を求める農家の  
気持ちが解かっている。これに  
対し町長の見解は。

答 町長 議会で意見書が採  
択され、議長と二人で都知  
事に提出した。

総合交付金が昨年より2  
億2千万円増えて、15億6  
千万円交付された。各党み  
んな頑張っていたら、「総  
合交付金で見えるから」とい  
う話が実現した。どうぞ  
ご理解をいただきたい。

# 第一回定例会の質疑から

## 有人国境離島雇用拡充事業の対象事業の選定方法は

水野佳子議員



特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の雇用機会拡充事業の対象事業の選考は終わっているのか。終わっているとすれば、どのようなところが対象になっていたのか。

**企画財政課長** 1月29日から2月26日まで公募したところ、10件の応募があった。審査会を行い、今(3月19日現在)、内閣府に上げるものを調整中である。10件の申請はあったが、全部が採択になったということではない。内容についてはまだ示すことができないが、いずれ示したい。

**水野佳子議員** 選考委員は、どういう人がしているのか。

**企画財政課長** 平成29年度は内閣府が派遣するアドバイザーと町職員だったが、

次回は町職員で選考するよう話があり、今回は町の職員数名で審査委員会を開いた。

## 町営住宅の入居に際して家賃の説明を

奥山博文議員



広報の町営住宅の入居者募集

居者募集で、標準の住宅使用料が書いてあるが、所得が基準額以上になると、それを超えて支払ってもらうことを入居者には説明しているか。

**建設課長** 入居者には、毎年12月に、来年度の住宅使用料の額をお知らせをしている。

**奥山博文議員** 入居の説明をするとき、基準を超える所得があったら使用料が高額になることを説明すべきではないか。

**建設課長** 新年度に向け、入居時に渡すパンフレットを改訂するので、それに記

載するとともに説明もする。

## 末吉からの回送バスを乗合に

**奥山幸子議員** 夕方の末吉からの回送バスを乗合バスにすることはできないか。

**企業課長** 末吉自治会等からもそういう声をいただいているが、利用者がいるのか把握できないことや、運転手・運行管理者の人員費が増えるという問題があるが検討したい。できないということではないとご理解いただきたい。

**奥山幸子議員** 人件費が増えると言うが、もともと運転手が乗って帰ってくるのに、どうして増えるのか。

**企業課長** 利用客を乗せるために、停留所に留まることで時間が増える。

**奥山博文議員** 利用者がいるかどうか、バスを運行させて判断することが必要なもので、やってみてはどうか。

**企業課長** 運行して減収になるということではないが、乗合の路線のダイヤを変更する場合は運輸局に届けなければならぬ。その際にも乗客数についての審査もある。また、バス会計は厳しい経営状況なので、その辺も考えて検討したい。

## 地域包括支援センターを町で運営することについて

**奥山幸子議員** 地域包括支援センターを、町が独自に運営するという話を聞いたが、どうなっているのか。

**福祉健康課長** 地域包括支援センターについては、事業開始当時から必要な職種の人材が揃っているということ、養和会に委託しているが、国からは、今まで以上に手厚くするよう要請されている。養和会ではなかなか受けきれないという現状にあり、平成30年度を引継期間として、福祉健康課の中に地域包括支援センターに必要な保健師、社会福祉士を配置し、平成31

年度から町で地域包括支援センターを運営する。

**奥山幸子議員** 地域包括支援センターの場所は。

**福祉健康課長** 町役場庁舎内の個別相談ができる場所に設置し、来訪者が町の中ですべてのサービスをスムーズに受けられるようにしたいが、庁舎内のどこというところはまだ決まっていない。

## ● その他

- ふるさと村が焼失し、歴民が縮小されるが、団体観光客が利用する観光施設をどう考えているか
  - 新年度予算に新規事業が少ないが、総合交付金が減額されないか
  - 町の公文書の取り扱いはどうなっているか
  - 病院でクレジットカードが使えるようにできないか
  - 介護保険の給付費が減少しているが、事業所への影響は
- なども質問しました。

石川県金沢市 視察日 平成30年1月11日

## シェア金沢

高齢化が進む町の新しいサービスの在り方を学ぶため、サ高住の草分け、民間が運営している石川県のシェア金沢と都内唯一の公営品川区の大井林町高齢者住宅を視察に行った。

サービス付きと聞き、介護をしてくれる住宅を想像するが、サ高住のサービスとは、食事やお風呂の提供、生活上の問題解決や相談、安否確認などの日常生活のサービスの事で、介護は含まれないそうだ。衣食住の面倒はみるが、介護は別で、介護が必要な人は介護保険を使い、ヘルパーを頼みなさいという事だ。

金沢の施設の特徴は、「ごちゃまぜ」。老人だけ隔離するのでは



シェア金沢のロゴマーク

なく、大人も子供も障がい者もいっしょに暮らすひとつの町のようなイメージで、施設を運営していることだ。園内には同じ地区の住民は無料で入れる温泉や商業施設、障がい者施設、デイホーム、子育て支援のNPO、大学の学生寮など様々なものがあり、ミニ動物園にはアルパカまでいる。園長から、積極的に地域を呼び込む工夫を重ね、徐々に地域を理解され溶け込み共に発展してきた様子の説明を受けた。民間ならではの明るく素敵な施設と、独特の運営、ノーマライゼーションを地で行く理想郷のような場所だった。難点は毎月十数万円の入居費で、ある程度のお金がないと入れない。現在の入居者は元気な方ばかりで、園内の施設で働いたりサークル活動をしたり生き生きとお過ごしだそう。子どもとのふれあいを楽しみにしている方も多いと聞いた。お昼は入居者が働く園内のカフェで美味しい料理をいただき、お土産を買ったが、島の婦人会の方より元氣そうに見えた。

報告者 沖山恵子

東京都品川区 視察日 平成30年1月12日

## 品川区立大井林町高齢者住宅



品川区立大井林町高齢者住宅

味に飽きることを避ける、またできるだけ自分の力で食事の用意をするよう促すためだそうです。私たちの訪問中にも、生協の出入りがあり、生鮮食料品移動販売車「とくし丸」が1時間待機していつでも自由な買い物ができる環境が整っていました。また、大井町の駅近くにあるため周囲に飲食店が多く、外食する方も多いとのことでした。

《仕事もここから》100人近くの入居者のうち、約4割の方がここから仕事に出かけていくということ。施設で人を管理するのではなく、一人一人の生き方を陰から支えるという考え方に共感しました。

《利用料》単身用（風呂あり）で7万5千円、2人用で10万円。これに生活支援や共益費などで約2万円程度かかります（低所得者は区の助成あり）。

個性を重視した生き方を支援するしくみと、収入の多少にかかわらず選択ができる環境を町が整えるべきだと思いました。

報告者 奥山幸子

## 町ナビ

この春、株式会社フジドリームエアラインズ（略称：FDA、本社：静岡県静岡市）のチャーター便ツアーが合計9便就航し、574人が小牧、岡山、広島、松本の各空港からダイレクトに八丈島を訪れた。秋にも商談中のツアーが控えているという。

FDAの保有する12機の機材は、マルチカラー・コンセプトに基づき、すべて違う色。写真は4月22日に就航したグリーン色の11号機。24日には同社の営業本部幹部らが町役場を訪問し、山下町長とも面談。今後さらにチャーター便ツアーを増やせるように、両者で協力していくことを確認した。



### 主な議決事項

3月定例会 平成30年3月1・19・26・29日開催

- 専決処分事項の報告及び承認について（損害賠償の額の決定について）
- 八丈町職員懲戒審査委員会委員及び補充員の任命の同意について
- 平成29年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算7件
- 八丈町公告式条例等の一部を改正する条例 ほか条例制定・改正13件
- 今崎越富士山2号線道路改良工事請負契約の変更 ほか契約1件
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約
- 平成30年度八丈町一般会計予算 ほか当初予算7件
- 八丈町火葬場の指定管理者の指定について
- 議員の派遣について（東京都町村議会議長会議員講演会） ほか承認3件
- 富士見地区公会堂の指定管理者の指定について
- 八丈町辺地総合整備計画の策定について

### 主な会議事項

- 全員協議会 平成30年2月5日開催
- 平成30年度当初予算について
- 全員協議会 平成30年3月29日開催
- 平成30年度要望項目（案）について
- 八丈島地熱発電利用事業 平成29年度進捗概要について
- 八丈町地域防災計画及び避難所運営マニュアルについて
- はちじょうH.E.A.R.Tプラン（八丈町地域福祉計画）について
- 八丈町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画について
- 八丈町障がい者福祉計画について
- 議会運営委員会 平成30年2月22日開催
- 平成30年第1回八丈町議会定例会について
- 議会運営委員会 平成30年3月9日開催
- 平成30年第1回八丈町議会定例会（一般質問）について
- 総務文教委員協議会 平成30年1月26日開催
- 平成30年度当初予算について
- 経済企業委員協議会 平成30年1月26日開催
- 平成30年度当初予算について

## 編集後記

今年のフリージアまつりは、昨年の反省を生かしてか、ほぼ満開でオープニングを迎えることができました。咲くべき時に花が咲くというごく当たり前に見えるその陰に、実は筆舌に尽くせぬ苦労があることを知るべきでしょう。これは町政運営も同じ。

施策推進のためには、町当局は自信と誇りを持って行政運営にあたるべきだし、全議員は各人の知識・経験・能力の全てを傾注してチェック機能を果たすべきではなかろうか。これは恐らく全町民の願いと期待、そう感じた定例会でした。 山本 忠志

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 沖山恵子 山本忠志 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437